

…「アオ兄ちゃんだけお散歩連れて行った。」 「ズルい。オレたちだって、マフラーしてお出かけに備えてたのに。」 「連れていけ、連れていけ。」

この間、アオ君だけお散歩連れてったのがばれて、マフラー・ブラザーズから抗議の声が。

もう、お出かけ用象さんバッグに入ってスタンバイしちゃうもんね。



「仕方ないなあ。電車に乗るんだから、気を付けるんだよ。」 「電車~っ!」



「電車?電車?これが中央線?」

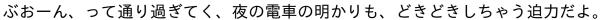


電車って楽しいね、いっぱい人がいるね、何となくのんびりしてるね。 今、一番空いてるくらいだからね。



空いた電車に座って、ふわっと光が差し込む瞬間って、とってもイイんだ。 晴れた朝、空いた電車に乗って、どっか遠く知らない町まで行きたいなって思ったりするんだ。

歩いていて、線路を電車が走ってくの見てもね、一瞬通り過ぎる、中に乗ってる人たちの風景に 、心がふわっと一緒に飛んでっちゃう気がしたりするんだ。





来るぞ来るぞ来るぞ。



来た一っ!



置いてかれちゃったね。 お留守番、寂しいね。

ウン。夕暮れだしね、ちょっと寂しいね。



どんどん暮れちゃうね。 早く帰ってきて。

あみねこの日々 あみねこ電車に乗る

http://p.booklog.jp/book/46169

著者: yamamomon

著者プロフィール: http://p.booklog.jp/users/yamamomon/profile

※あみねこの著作権は、ねこやまさんにあります。 この写真絵本は、ねこやまさんの許可を得てyamamomonが制作、発表しているものです。

> 感想はこちらのコメントへ http://p.booklog.jp/book/46169

> ブクログ本棚へ入れる http://booklog.jp/item/3/46169

電子書籍プラットフォーム:ブクログのパブー(http://p.booklog.jp/)

運営会社:株式会社paperboy&co.